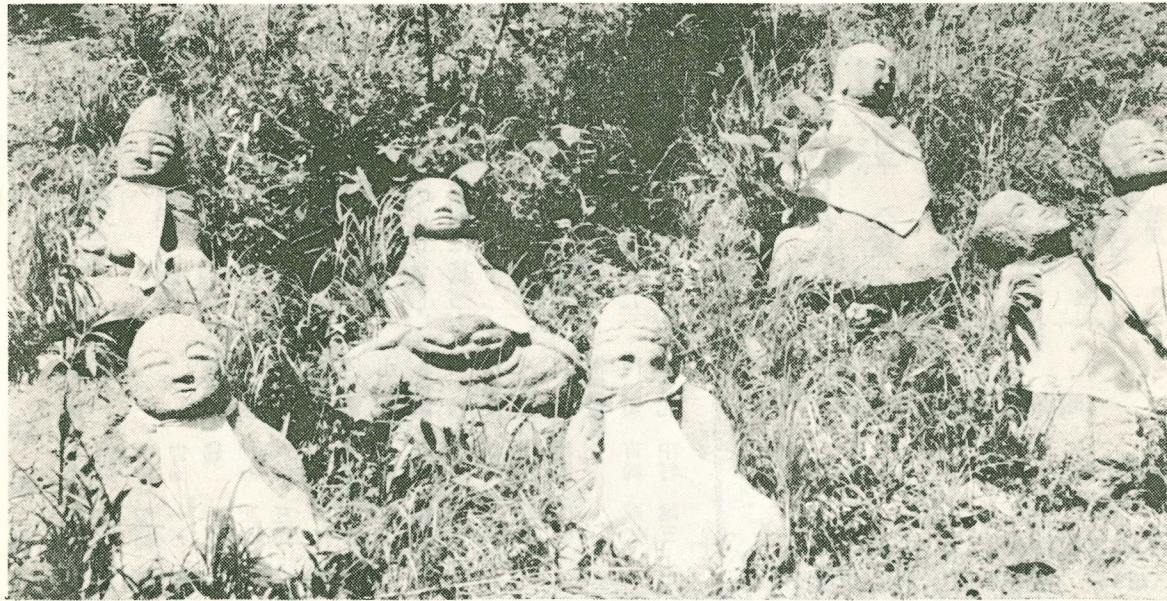


北九州市の文化財を守る会

会報

No.12 50. 6. 1

発行 北九州市の文化財を守る会
北九州市小倉北区内1-1
北九州市教育委員会文化課内
電話 582-2389



小倉北区小文字の地藏群

「あのお地藏さんも、いつのまにか、のうなっしもうたね」「あそこ
に建ったマンションのまんや、いまに罰があたるよ」「ほんと、七
月になると赤や黄や紫の前かけをつくって、お地藏さんの首にかけにい
ったが、いまの子どもはそんな楽しみも知らんかわいそうなことよ
ね」。バスの中の会話である。六十ちかい年かっこうに見える三人の女
がスーパーマーケットの包みを膝の上に置いて話していた。
わたしにはこの人たちが、とくに地藏信仰を持っているとも思えな
かった。それは地藏信仰などという、しかつめらしいものではない。道ば
たの地藏も日常生活の中に溶けこんでおる、そんな環境で成長してきた
のである。学校の往きかえり、野花をそっと地藏の前に置いて、なんと
なく善いことをしたという、小さな満足感にひたっていた。
わたしはこの素朴さのなかに、永年にわたってつちかわれてきた民族
の意識の、ひとつの源流のようなものを感じた。このようなものも、現
にわたしたちが生活しているこの「現在」の時点を築くための、ひとつ
の要素をなしていたことは間違いない。「現在」とは、何百年、何千年
そして何万年もの過去の累積された頂点であり、これが明日の発展へと
連なる。明日への発展、だが明日は必ずしも発展するという保証はな
い。退歩し滅亡するかも知れないのだ。
これも何千年来の人間の英智の積み重ねの所産であるが、こんにち地
球のまわりには、たくさん的人工衛星が飛び、人間が月の世界に行ける
ようになった。しかし、いくら人間が万能になっても、猿から人間を産
ませることはできない。過去を正しく積みあげた「現在」であることに
よってのみ、そして「現在」を正しく理解することによってのみ、未来
への発展が可能なのである。
文化とは人間の英智によって創造され、人々の生活を、より豊かに発
展させるものである。そして文化財とは、この発展の過程を如実に物語
る物や形である。
わたしたちは過去を知り、その連続としての「現在」を理解するため
に勉強する必要があり、それは同時に文化財を人間形成の一大要素とし
て大切に、守っていくことでなければならぬ。
「うちの孫はテレビばかり見とるが、タヌキやキツネの話聞か
してやらにゃあ」。バスの中の話は、はずんでいた。
(米津三郎)

バスの中で

昭和49年度決算報告

Table with financial data for the 49th year, including income and expenditure sections with columns for budget and actual amounts.

昭和50年度予算

Table with financial data for the 50th year budget, including income and expenditure sections with columns for budget and actual amounts.

催物案内

現代工芸美術展
とき 5月17日～6月8日
ところ 市立美術館

森鷗外を偲ぶ会
とき 6月19日
ところ 鷗外碑前

交楽公演
とき 7月5日 昼夜二回
ところ 戸畑市民会館

狂言 昼 仮名手本忠臣蔵ほか
夜 傾城阿波の鳴門ほか

小倉祇園
とき 7月10日～12日

戸畑祇園大山笠
とき 7月13日～15日

黒崎祇園
とき 7月20日～23日

オペラ 吉四六昇天
とき 7月29日 夜
ところ 八幡市民会館
出演 立川清登ほか

北九州市民音楽祭
とき 8月23日
ところ 小倉市民会館

バスによる文化財めぐり

第九回バスによる文化財めぐりは、山岳信仰関係資料を集めている求菩提の資料館を訪ねることにしました。同館は展示品の約半数が、国県指定文化財という他にあまり例を見ない特徴をもっています。説明者には求菩提研究で有名な重松敏美館長にお願いしています。

日 時 六月二十二日(日) 雨天決行
参加資格 本会会員
参加料 一人につき千三百円
募集人員 五十人(先着順)
締切日 六月十六日(月)
申込方法 参加料を添え事務局まで
申込先 市教委文化課内本会事務局
集合場所 若松区役所前
出発時間 八時三十分
出発 小倉駅北口(新幹線駅)前
出発 八時四十五分
※食堂等がありませんので、昼食を持参してください

これまでの文化財めぐり
一、門司・小倉の文化財めぐり S46・3・14
二、洞海三区の文化財めぐり S46・6・13
三、平尾台と周辺の文化財めぐり S46・11・28
四、ふるさとの盆踊りを訪ねて S47・8・13
五、若松・芦屋の文化財めぐり S47・11・26
六、下関の文化財めぐり S48・6・24
七、史跡の町・萩を訪ねて S49・6・23
八、秋の太宰府を訪ねて S49・9・20

福岡県郷土叢書 全1巻 限定 500部
定価 10,000 予約特価 9,000

筑豊炭砒誌 全1巻 複製版 限定 300部
定価 14,500 予約特価 13,500

総発売元 ナガリ書店

北九州市小倉北区魚町三丁目
TEL 521-9905
発行所 文献出版
TEL 03-263-7968

印刷と出版

博文堂印刷所
北九州市小倉北区長浜町2番22号
〒802 TEL (093) 511-1011

写真で残そう郷土の歴史

砂津カメラ
北九州市小倉北区黒住町商店街9-22
(湯川店) 南区湯川安部山入口
電話 921-8673 (代)

会長に局 哲平氏を選出

昭和五十年年度総会

五月十七日午後二時から小倉北区西日本相互銀行北九州支店五階ホールで、昭和五十年年度総会が開かれました。

加瀬会長職務代理の開会あいさつがあったあと、座長に同氏を選んで議事に入りました。まず、任期満了に伴う役員人事のうち、総会で決めるべき会長の選出を行ない、万場一致で局 哲平氏を決定しました。なお副会長以下の役員については、会則に基づき会長が委嘱しました。

ついで、昭和四十九年度決算報告及び昭和五十年年度予算、同事業計画案及び会則の一部改正案を審議し、いずれも原案どおり承認ならびに可決しました。議事終了後、元本会副会長で、現在市立中央図書館長の小林安司氏の講演「森鷗外と北九州」が行なわれました。



局 哲平 会長
住所 門司区大字吉志
生年月日 明44・3・22
東大経済学部を卒業後、三井生命、西鉄を経て、井筒屋入社。昭和四十五年取締役社長に就任。
趣味 ゴルフ、絵画

昭和50年度事業計画

- 会報の発行 年4回
- バスによる文化財めぐり 第9回 6月22日(日) 県立求菩提資料館 第10回 9月下旬 未定
- 文化財セミナー 8月上旬 2日間 市教委と共催
- 市立歴史博物館見学 全会員に入場券を配布
- 文化財映画鑑賞会
- 文化財保護強調週間行事 平尾台清掃
- 市指定文化財見学
- 文化財防火デー行事

新役員

顧問	一条 高登	久保田瑞一	小倉南 池上 重信
会長	局 哲平	吉田 一芳	八幡東 藤田 敏夫
副会長	加瀬 康作	米津 三郎	八幡東 波多野英磨
支部長	石崎 巖	大隈 岩雄	戸畑 門司 宣里
門司	中村 穰徳	若松 中山 司	八幡西 安田富美子
小倉北	若松 能美 安男	八幡西 黒野 肇	小倉北 大田 章
小倉南	戸畑 福田 安敏	八幡東 島津 清宗	木村 照彦
若松	門司 吉岡 成夫	小倉南 飯田 久雄	村上 孝淳
八幡西	中村 雄三	若松 溝口 連	利雄 吉田美智子
戸畑	中村 雄三	八幡東 小川 久雄	黒田 照豊
常任理事	中村 雄三	若松 村田 東作	香月 利邦
理事	中村 雄三	八幡西 伊崎吉兵衛	林 前田 三可
監事	中村 雄三	戸畑 伊崎吉兵衛	林 前田 三可

会則の一部改正

- (新)
第九條(役員選出) 会長は、総会において選出する。
2 副会長、支部長、常任理事、理事および監事は会長が会員のの中から委嘱する。
3 会計は理事会にはかり、会長が委嘱する。
(旧)
第九條(役員選出) 会長は、総会において選出する。
2 副会長は、支部長の中から互選し、会長が委嘱する。
3 支部長、常任理事、理事および監事は会長が会員の中から委嘱する。
4 会計は理事会にはかり、会長が委嘱する。
なお、この会則は、昭和五十年四月一日から施行します。

お知らせ

会員の門司宣里さんが、「中世北九州落日の譜」門司氏史話を刊行しました。ご入用の方は、ナガリ各店金栄堂、紀ノ国屋でお求めください。定価千四百円。

監事 大神 文和 松崎 武俊
会 計 事務局
(敬称略アイウエオ順)